

# 六郷のカマクラ

2月11日から15日にわたって「六郷のカマクラ」が行われました。11日の蔵開きから最終日の竹うちまで、さまざまな行事が行われ、町中が活気に沸き立ちました。

正月どごまできた  
クルクル山のかげまで  
何おみやげ持ってきた  
松と ゆずり葉と  
デンデン串柿もってきた  
明日の晩 カマクラだ  
大根と牛蒡ど煮ておげ  
(わらべ唄)

## 蔵開き

2月11日は六郷のカマクラ行事の中で一年の繁栄を願う「蔵開き」の日です。町内の酒蔵でも蔵開きが行われ、たくさんの方が六郷の水で仕込んだ日本酒に舌つづみをうちました。

## 町内会のもちつき

各町内会で餅つきが行われました。柳の枝につきたての餅で「まゆ玉」を作り、豊作を祈願しました。威勢よく餅をつく姿に多くの観光客が足を止め、にぎわいをみせました。

## 雪宮・鳥追い小屋コンクール

2月14日に町観光協会が主催する雪宮・鳥追い小屋コンクールが行われ、各町内がカマクラ行事に向けて制作した雪宮などの出来映えを競い合いました。今年の成績は次のとおりです。

### ◆最優秀賞

西高方町町内会

### ◆優秀賞

琴平町内会、新町町内会

### ◆努力賞

米町町内会、東高方町町内会

本道町町内会、古町町内会

赤城町内会

## 竹うち

2月15日に秋田諏訪宮前のカマクラ畑で竹うちが行われました。北軍が勝てば豊作になり、南軍が勝てば米の値段があがると言い伝えられています。今年から竹うちへの参加方法が変わり、参加者は町内ごとに色分けされた腕章を身につけて参加することになりました。

今年も天気に恵まれ、会場には約1500人の観客が詰め掛けました。1回戦が始まる前に北軍、南軍双方の総大将が前に出て握手を交わし、互いに全力を尽くすことを誓うと、両軍の打ち手からは地鳴りのような雄叫びが上がりました。開始のサイレンが鳴ると両軍が一気に攻め込み、激しい打ち合いが始まりました。2回戦終了後に行われた天筆焼きでは、42歳のお祓いを済ませた男衆により「松二才」に火が灯されました。町内会の子どもの手により燃やされた天筆は空高く舞い上がり、観客の目を惹きました。時刻は8時20分、いよいよ3回戦が始まります。燃え盛る「松二才」を挟んで行われる3回戦は竹うちの最高潮です。サイレンと共に打ち下ろされる竹の音と歓声が会場に響きわたりました。激しいぶつかり合いの末、今年も北軍が勝利を納めました。



## 写真説明

- ①児童たちが木貝吹きに挑戦  
(六郷小学校カマクラ集会)
- ②新酒の味を堪能(蔵開き)
- ③まゆ玉をつくる子どもたち
- ④42歳厄年の男衆によるもちつき
- ⑤コンクールで最優秀賞をとった西高方町町内会の雪宮
- ⑥子どもたちが参加した天筆焼き  
(2/15竹うち)
- ⑦激しくぶつかり合う3回戦(2/15竹うち)